



2月の図書館行事

ブックスタート

3、4ヶ月健診を受診されるお子様が対象です。健診時にブックスタート会場へ来られなかった場合は、図書館でもお渡しできますので、健診日より3年以内にお申し出ください。

25日（火） 場所：鏡野町中央公民館
時間：午後1時～

新着図書紹介

新しく図書館に入った本を紹介します。

一般

独走

堂場 瞬一／著
最新図解PM2.5と大気汚染がわかる本
饒村 曜／著

植物を楽しむインテリアのルール
成美堂出版編集部／編
池上彰のやさしい経済学1・2
池上彰／著

児童

マジックツリーハウス35 アレクサンダー大王の馬
メアリー・ポープ・オズボーン／作
じぶんでつくろうこどものしゅげい

大月ヒロ子／作
のりができるまで
ひさかたチャイルド／発行
とてもおおきなサンマのひらき
岡田よしとか／作

今月のおすすめ本



大江戸ドクター

和田はつ子／著 幻冬舎

幕末の江戸、神薬と呼ばれる麻酔を駆使して、絶望の淵に立つ患者の人生を蘇らせる蘭方医・里永克生。"命"に執着した日本人の熱き人間ドラマを描く。



温故知新で食べてみた

工夫と愛が詰まった家庭料理の原点がここに！
山本直味／著 主婦の友社

この時代があったから、今がある！ 鯖のグラタン、おからの揚げだんご、ハムずしなど、大正15年から昭和13年までの『主婦の友』本誌・付録掲載のレシピを再現して収録！



いちばんわかりやすい彗星のひみつ

縣 秀彦／著 幻冬舎エデュケーション

突然、天空に現れて長い尾をたなびかせ、遥か太陽系のかなたに去ってってしまう彗星たち。彗星と小惑星の違い、彗星のふるさと、個性あふれる魅力的な彗星たちなど、彗星のひみつを読み解き、宇宙の謎に迫ります。



はーくしよい

せな けいこ／作 ポプラ社

「はーくしよい！」元気なルルちゃんが急に風邪をひきました。お母さんにセーターを着せてもらっても、マスクをかけても、くしゃみは止まりません。そこで魔法使いを呼びますが…。

読書の扉



2月は「節分」があります。季節の変わり目には邪気（鬼）が生じると考えられ、それを追い払うための行事だそうです。「鬼」とはどんなものなのでしょう？

「鬼学」（松岡義和／著）は、鬼はどんなものを食べるのかなど、鬼の生活や鬼に関する昔話、行事などを紹介しています。鬼が出てくる話で有名なのは、我が岡山県が舞台の「桃太郎」ですが、鬼退治のあとの鬼ヶ島はどうなったのか、というとてもユニークな絵本もあります。「それからのおにがしま」（川崎洋／作）。この絵本を読むと、鬼も怖いだけじゃないんだなあ、と思えますよ。岡山ゆかりの鬼の伝説もあります。「鬼ノ城」（谷山雅彦／著）温羅（うら）という鬼が住んでいた城だと言われています。有名な「うらじゃ踊り」もこの鬼からきているそうですよ。意外と私たちに身近な鬼。節分には「おにはそと」が言えなくなるかもしれませんね。

～図書館ではカバンをロッカーに入れましょう～

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

開館時間 10:00～18:00